

蕨 12 広報WARABI

2017/平成29年
わらび・802

- 平成29年12月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.11km²
- 11月1日現在人口：74,419人 前月比 +155人
男 37,829人 女 36,590人
世帯数：38,092
人口密度：14,563人/km²

おとなりさん、
いつもありがとう！
次はわたしの番だね



～今月の特集～

- 主役はあなた！
町会活動のススメ
- 蕨市庁舎耐震化整備
基本方針策定へ



「遠くの親戚より近くの他人」。そんなことわざもあるように、いざというとき頼りになるのが隣近所の人たちです。今月の特集テーマは「町会活動」。地域のつながりを深め、住みよいまちづくりに欠かせないこの活動に迫ります。

町会活動のススメ

主役はあなた！



市民の皆さんに町会活動の「いいこと」をお聞きしました

藤市内に37団体ある町会 まちづくりの中心的役割

お祭りや清掃、防災訓練。

こうした活動に加え、日頃から身近な生活を支えている町会。同じ地域の住民たちが交流を深め、住みよいまちにするために組織するこの自主団体は全国に30万近くあります。

私たちのまちではどうでしょうか。5・11平方キロメートルと日本一小さな市域に37団体あり、加入世帯は約2万5000。

コミュニティが豊かで、市民の皆さんがまちづくりに主体的に関わっている藤において、中心的な役割を担っています。

「いいこと」がたくさん 市民一人ひとりが主役に

生活の利便性が向上し、隣人との関わりが希薄となった現代では、町会との接点も少ないという人もいます。その一方で、現在活動している皆さんに何うと、写真のような「いいこと」もたくさん。市内のいたるところにいっききと取り組む姿があり、正に一人ひとりが主役となっています。そこで3ページ以降はあらためて町会活動について紹介します。

町会ってな～に？まずは町会を知ろう！



市民リポーター：まきの
牧野さん親子
左から良希さん(5歳)、母親の恵美さん、
美咲さん(8歳)

まずは町会の基礎知識から。親子で町会の行事に参加している錦町在住の牧野さん(春日町会)がリポーターとして、あらためて安全安心推進課の赤羽悟係長に話を聞きました。



町会単位で参加する防災演習



Q：町会ってどんな活動をしているの？

防災や防犯、交流、環境美化のほか、身近な情報を伝える回覧板やちらしの配布を行っています。特に近年の大規模災害時に支え合いの面で大きな役割を果たしていることから、その存在が再認識されています。しかし、全国的に加入率や参加者の減少、役員の高齢化や担い手不足といった課題を抱えているのが現状です。

Q：どうしたら町会に入れるの？

町会では加入案内のため、引っ越してきた人などに対して、役員がそのご自宅に伺っています。また、市では市民課窓口で転入手続きの際に、加入をお勧めするちらしをお渡ししています。もし、自分はどこの町会なのか、町会長の連絡先を知りたいといった場合は安全安心推進課(☎430・7834)へお問い合わせください。



(写真は中央7丁目自治会)
役員が加入案内に訪れます

町会長連絡協議会理事会の様子



Q：町会長さんってどんなことをしているの？

主な役割は町会の運営で、町会費の管理や行事の実施、回覧物の取りまとめ、町会への入会依頼などがあります。いずれも役員(副会長・防災担当など)と協力しながら、その運営を進めています。他にも定期的に町会長どうしの会議を開催するなど、連携を図りながら地域の皆さんの声をまちづくりに生かしています。



市内全37町会のマップは
[こちら](#)

問い合わせ = 安全安心推進課
(☎430・7834)

各町会のエリアは、市ホームページに掲載していますので参照ください



※町会名は略称です

もっと住みよく

多くの人が参加している町会活動。そこから地域の絆が深まり、日頃の生活の「安心」やいざというときの「支え合い」につながります。



夜道に目を光らせる塚越四丁目町会の皆さん。擦れ違う人への挨拶といった声かけも地域の防犯意識の向上につながります(左が雷坂勝一さん)



11月19日に中央小で行われた避難所運営訓練(中央3丁目土橋・中央4丁目土橋・中央6丁目土橋・中央4丁目御殿・中央5丁目御殿・須賀町が参加)

防犯

通 学の時間帯や夜間、帽子と蛍光ベストを身に着けた隊列を目にしたことがあるのではないだろうか。その隊列は防犯パトロールを行っている町会の皆さんです。夜8時。塚越4丁目のちびっこ広場に同町会の数人が集まってきました。これから1時間にもわたり、路地から線路沿いまで町内をくまなく回ります。「うちの町会は40年以上続けています」と、防犯部長の雷坂勝一さん。月2回の取り組みに加え、夏休み(1か月半)

と年末(1週間)も行うほどの熱心さです。活動を支えるのは小学生の父母や高齢者など200人。「団結力は他に負けないよ」と、メンバーの一人は胸を張って教えてくれました。パトロールを全市的に行うようになったのは、平成15年以降。活動が実を結び、犯罪件数はピーク時の3046件(平成15年)から3分の1以下の986件(28年)となっています。「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いが地域に安心を広げています。



おくえ よしふみ
奥江 好文さん
塚越四丁目町会

「子どもたちに安全な環境を」と、活動しています。パトロールは防犯だけでなく、交流も深まり一石二鳥ですね。地域全体の力が必要なので、皆さんが更に参加しやすい環境にしていきたいです。

防災

大 規模災害時には行政の力だけでなく、自らの身を守る力や地域の助け合いの力が重要になります。その中心となるのが町会です。各町会では自主防災会を組織し、活動しているほか、万一の際は行政と連携して避難困難者の支援を行うなど、地域の防災体制に欠かせない存在です。先月、中央地区では6町会合同で小学校に避難所を開設・運営する訓練が行われました。役割を分担し、物資の運搬や避難者の受け入れ、トイレの

設置、炊き出しを実施。本番さながらの内容に、「右往左往してしまった」、「大変だった」といった感想が上がりました。もっともこうした体験こそが訓練の目的で「問題点が分かり、意識の向上につながります。皆さん一生懸命でした」と、ある町会長は話していました。懸念される首都直下地震への対応は一朝一夕にはいきません。しかし、日頃の心がけや近所づきあい、訓練などが地域の結束を高め、災害時の減災につながっていきます。

みしま かずえ
三島 一江さん
中央3丁目土橋町会

先月のような訓練は初めてで手間取りましたが、皆さんと一緒によろしく学ぶことができました。万一のときは近所どうしの協力がたいせつですし、避難所では顔見知りの人がいると心強いと思います。



私たちのまちを



ごみ回収後、ごみ集積所の清掃が各地区で行われています。「まちはきれいなほうがいいですね」と南町3丁目町会の皆さん(左が土屋光雄さん)



秋まつりには市内各地でおみこしや山車が繰り出されます。北町1丁目町会では、子どもたちが午前と午後の計2回町内を回りました(10月8日)



環境

日 頃皆さんが出す家庭ごみも町会活動に深く関わっています。約3000か所あるごみ集積所の管理やごみの出し方・分別の啓発などを行っているのが、各町会の担当者から成る蕨市公衆衛生推進協議会(以下協議会)です。「以前より、ルールが守られています」と、南町3丁目町会の土屋光雄さん。協議会の一員として、ごみ捨ての日時やネットをかけるといった出し方の約束を町会の皆さんと周知しています。文化の異なる

外国人世帯にも外国語のごみの出し方マニュアルを手に一軒ずつ回り、改善傾向に。「やはりコミュニケーションが大事ですね」と、目を細めます。長年、蕨の公衆衛生に携わる協議会の野島善蔵会長(下写真)は「まちをきれいにすることは安全安心なまちづくりの基本ですからね」と、話します。こうした地道な活動に加え、定期的に行うごみゼロ運動や公園の清掃などが快適な環境をつくり、更にはまちをたいせつにする心を育てています。



のじま ぜんぞう
野島 善蔵 会長
蕨市公衆衛生推進協議会

皆さんの努力で、「きれいなまち」となった蕨。力を合わせ、もう一歩上の「美しいまち」にしたいのですね。協議会としても引き続き、ごみ出しのルール徹底、減量化・再資源化を進めていきます。



交流

「わ つしよい」と、響きわたる元気の掛け声。毎年10月の秋まつりは、多くの人で各町会がにぎわいます。北町1丁目町会もその一つ。かわいらしく着飾った手古舞の先導の下、法被姿の子どもたちが2基のおみこしを担ぎ、町内を回ります。「肩が痛かったけど楽しかったです」と笑顔で話すのは、おみこし初体験の西野佐保さん(下写真)。運営をしているのは町会や子ども会などの皆さんです。「昔に比べ、参加者が減ったか

な」という声がある一方で、時代の変化に対応し、「皆さんと協力しながらがんばっています」と、高義雄町会長。そうしたなか、皆さんには変わらぬ思いがあります。それは子どもたちに楽しんでもらいたいということ。「楽しい記憶は地元愛を育みますからね」と、メンバーの一人は話します。各町会では年間を通してさまざまな行事が行われています。盆踊りや敬老会、餅つきなど、その一つひとつが住民どうしの距離を縮めています。

しの こうじ さほ
西野 浩司さん・佐保さん
北町1丁目町会

「いろいろなイベントがあって楽しいです!」と、佐保さん。「親どうしも知り合いになれてよいですね。行事後の充実感は抜群。若い世代の人たちもいっしょに盛り上げていきましょう」と、浩司さん。



まちを育む

時代に応じてまちの課題もさまざまです。6ページではそうした課題に対し、特徴ある取り組みを行っている町会、7ページでは蕨市町会長連絡協議会会長のお話を紹介します。

Case1

お互い理解し
ともに暮らす



「越してきた頃は不安でしたが、皆さんが私たちを温かく受け入れてくれました」と呉さん一家(左が呉海峰さん。右が石川清さん)

塚越3丁目町会×外国人世帯

町会では継続的に外国人世帯にも加入を勧めているほか、交流を深められる催しを行っています。今後も外国人住民が増えていくなか、呉さんのような「理解者」と協力し、活動を広げていくのが重要でしょう。それが国籍を問わず、住民にとって住みよいまちにつながるはずです。



たかはし けいすけ
高橋 慶助 町会長

近

年東京圏では外国人住民が増えており、蕨市でもそれは同様です。異なる言語や文化を持つ人たちが認め合い、暮らしていく必要があるなか、塚越3丁目町会では次のような事例があります。

「防災訓練、お祭りといろいろ参加しています。皆さんとても親切です」と流暢な日本語で話す、中国・安徽省出身の呉海峰さん。来日20年で3年前に蕨に来て以来、家族ぐるみで町会活動に参加しています。昨年には地区幹事も務め、「頼りになります」と、同地区区長の石川清さんは語ります。すっかり地域に溶け込んでいる呉さんはこんな仲介役も。同町会は数年前から中国人世帯が増え、なかにはごみ出しのルールが分からない世帯もありました。ある役員から相談を受けると、そのお宅へ説明に行き、おかげで今では落ち着いた状態に。お互いの言語と生活習慣を理解する呉さんならではのエピソードです。「蕨の皆さんは優しいです。同郷の仲間にも教えたいですね」と、話す呉さん。こうした地域の輪の広がりが多文化共生の前進につながるはず。

Case2

世代を超えた
居場所づくり

郷町会×みんなの食堂「ぽっかぽか」



はるやま ただよし
春山 忠義 町会長

一生懸命取り組んでいるぽっかぽかの皆さんが場所を探していると聞き、役員と相談し、町会会館の活用を提案しました。当日は地域の子どもから大人まで居心地よさそうに過ごしていましたね。今後も町会としてさまざまな団体と連携し、活動の幅を広げていきたいと思ひます。



「ごはんを食べたり、お話をしたり、宿題をしたりとぽっかぽかにはそこに行けば、誰かがいる場所です」と、新妻さん(11月9日)

誰

でも気軽に集える場所をつくりたいと、地域の主婦たちが「ぽっかぽか」(10人)を立ち上げたのは昨年のことでした。共働き世帯や核

家族が増え、夕食を一人で取る人が多いなか、「でも誰かといっしょのほうがおいしいですよ」と、代表の新妻朋子さん。定期的に公民館で開催し、子どもは無料、大人は少しの金額で、おなかも心も満たせると広まっていきました。

同時に本格的な開催場所を探していたぽっかぽか。そんなとき声をかけたのが郷町会の春山忠義会長(左上写真)です。話を耳にし、「ぜひ町会会館で」と新妻さんへ。同じ町会という縁もあり、先月から新たなスタートを切りました。先月9日、親子連れから年配者まで20人以上が訪れました。そこには様子を見に来た春山会長の姿も。「にぎわっていますね」と、目を細めます。両者の心が通じたこの取り組み。「楽しかった」と話す、子どもの笑顔が印象的でした。

ぽっかぽか / 第2・4木曜日
午後6時〜8時 郷町会会館
(錦町2・14・8) 詳細は新妻
(090・9230・8919)



町会が地域の絆と



Interview

蕨市町会長連絡協議会会長×インタビュー

町会の意義や今後の展望などについて伺いました。

市内37町会の思いは一つ

「自分たちのまちをよくしたい」

安

心して暮らしたい」という誰もが抱くこの思いを実現するために、

町会は欠かせない存在です。懸念される大地震への備えに加え、地域全体で子どもや高齢者への見守りが求められるなか、町会の役割はますます大きくなっていきます。そのためにも人と人とのつながりをたいせつにして、顔の見える関係を築いていかなければなりません。

全

国的に加入者の減少が問題となっていていますが、幸い蕨市では微増傾向にあります。しかし、近

所づきあいがないながらも日常生活を送れる現代では、町会の意義を理解しづらいという人もいるでしょう。価値観が多様化している今こそ、未加入者や活動に参加していない人に内容や魅力を伝え、その重要性を認識していただきたいものです。

蕨

市内の37町会はそのぞれ歴史や特徴があります。自分たちのまちをよくしたい」という思いは同じです。町会長の皆さんを中心に、ほんとうに熱心に活動していただいております。頭が下がる思いです。

協議会としても、今後も各町会長と連携し、行政と協力しながら、地域の課題解決に向けて取り組みを進めていきます。そして、時代に即した体制や活動を模索し、次世代へとしっかりと引き継いでいくのが私たちの責務だと思っています。

蕨市町会長連絡協議会
あきやま しげお
秋山 滋雄 会長

みんなでつくる このまちの未来
あなたの力が必要です



多くの人とお会いした今回の特集。その活動はさまざまでしたが、いずれも私たちの生活を支え、協働のまちづくりを進める上で欠かせない取り組みです。なによりも人と人とのつながりが皆さんの心に彩りをもたらし、はつらつと活動する姿がそこにはありました。

町会活動に縁がないという人もなかにはいるかもしれませんが。でも一歩踏み出すと、きっと「いいこと」があるはずです。

みんなで未来の蕨を創る一。このまちにはあなたの力が必要です。

北小学校の下校時に合わせて、防犯パトロールをする北町二丁目町会の皆さん



写真で振り返る わらびこの一年

2017

12月を迎え、今年も残すところあと僅かとなりました。そこで8、9月では市政やイベントなど蕨のこの一年を写真とともに振り返ります。



①第71回蕨市成年式



②アクティブシニアの社会参加
支援事業「ボランティア・
市民活動見本市」



③蕨ブランド認定品披露会



④新たに民間認可保育園が1園開園
(認可保育園が計13園に)



⑥蕨市駅ホーム声かけサポート講習会



⑤苗木市・蕨まつり



⑦蕨市庁舎整備検討審議会

7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
9日 生涯学習フェスティバル(〜11月12日)	22日 わらび防災学校開校(〜来年3月25日予定)	19日 蕨市駅ホーム声かけサポート講習会⑥	29日 苗木市・蕨まつり⑤	31日 蕨駅前コミュニティ・ショッピング道路整備工事完了	25日 歴史民俗資料館特別展(〜4月30日)	9日 消防出初式
8日 あさがお&ほおすき市(〜9日)	9日 わらび防災学校開校(〜来年3月25日予定)	14日 第2回議会報告会	21日 図書館・錦町児童館耐震補強工事設計委託	18日 小型動力ポンプ(B2級)付軽消防自動車受納式	19日 蕨ブランド認定品披露会③	10日 第71回蕨市成年式①
2日 わらび防災学校開校(〜来年3月25日予定)	4日 わらび防災学校開校(〜来年3月25日予定)	12日 独立行政法人住宅金融支援機構と子育て支援に係る相互協力に関する協定を締結	3日 不妊検査費の一部助成開始	1日 民間認可保育園開園(蕨ゆたか保育園)④	12日 避難所運営訓練(南小学校)	5日 「ボランティア・市民活動見本市」②
1日 フルオアシス蕨実施(〜9月30日)	1日 マイナンバーカードによる住民票等のコンビニ交付サービス開始	20日 市営住宅耐震診断委託(〜20日 錦町4丁目住宅1号棟、21日 錦町2丁目第1住宅)	15日 市長タウンミーティング(〜23日)	28日 全防犯灯のLED化完了	12日 蕨ブランド認定品披露会③	8日 アクティブシニアの社会参加支援事業「ボランティア・市民活動見本市」②
1日 市民会館・中央公民館等耐震補強等工事着工	1日 わらび防災学校開校(〜来年3月25日予定)	20日 みなで創るわらび推進条例市民懇談会	15日 市営住宅耐震診断委託(〜20日 錦町4丁目住宅1号棟、21日 錦町2丁目第1住宅)	1日 民間認可保育園開園(蕨ゆたか保育園)④	12日 避難所運営訓練(南小学校)	5日 「ボランティア・市民活動見本市」②
1日 市民会館・中央公民館等耐震補強等工事着工	1日 わらび防災学校開校(〜来年3月25日予定)	20日 みなで創るわらび推進条例市民懇談会	15日 市営住宅耐震診断委託(〜20日 錦町4丁目住宅1号棟、21日 錦町2丁目第1住宅)	1日 民間認可保育園開園(蕨ゆたか保育園)④	12日 避難所運営訓練(南小学校)	5日 「ボランティア・市民活動見本市」②
1日 市民会館・中央公民館等耐震補強等工事着工	1日 わらび防災学校開校(〜来年3月25日予定)	20日 みなで創るわらび推進条例市民懇談会	15日 市営住宅耐震診断委託(〜20日 錦町4丁目住宅1号棟、21日 錦町2丁目第1住宅)	1日 民間認可保育園開園(蕨ゆたか保育園)④	12日 避難所運営訓練(南小学校)	5日 「ボランティア・市民活動見本市」②
1日 市民会館・中央公民館等耐震補強等工事着工	1日 わらび防災学校開校(〜来年3月25日予定)	20日 みなで創るわらび推進条例市民懇談会	15日 市営住宅耐震診断委託(〜20日 錦町4丁目住宅1号棟、21日 錦町2丁目第1住宅)	1日 民間認可保育園開園(蕨ゆたか保育園)④	12日 避難所運営訓練(南小学校)	5日 「ボランティア・市民活動見本市」②
1日 市民会館・中央公民館等耐震補強等工事着工	1日 わらび防災学校開校(〜来年3月25日予定)	20日 みなで創るわらび推進条例市民懇談会	15日 市営住宅耐震診断委託(〜20日 錦町4丁目住宅1号棟、21日 錦町2丁目第1住宅)	1日 民間認可保育園開園(蕨ゆたか保育園)④	12日 避難所運営訓練(南小学校)	5日 「ボランティア・市民活動見本市」②
1日 市民会館・中央公民館等耐震補強等工事着工	1日 わらび防災学校開校(〜来年3月25日予定)	20日 みなで創るわらび推進条例市民懇談会	15日 市営住宅耐震診断委託(〜20日 錦町4丁目住宅1号棟、21日 錦町2丁目第1住宅)	1日 民間認可保育園開園(蕨ゆたか保育園)④	12日 避難所運営訓練(南小学校)	5日 「ボランティア・市民活動見本市」②

パブリック・コメントを実施中

蕨市庁舎耐震化整備基本方針 今年度内に策定へ



市民サービスや災害時の拠点となる市庁舎

蕨市庁舎耐震化整備基本方針(案)

「蕨市役所庁舎の耐震化は
建替えにより行い、
建設場所は現在地とする」

**建設から53年が経過した
市役所庁舎を耐震化整備**

昭和39年に建設されてから、既に53年が経過している蕨市役所庁舎。平成7年度に行われた耐震診断では、「耐震性が劣る」との結果が出ています。

市ではこれまで、公共施設の耐震化が立ち遅れていたことから、子どもが利用する施設や避難所となる公共施設を優先して耐震化に取り組んできました。市庁舎については耐震化されるまでの安全対策として、軸耐力補強等工事を行い、建物の層崩壊を防ぐ措置を講じました。そして、25年度には小・中学校、26年度には保育園、27年度には単独の公民館の耐震化が完了し、昨年度に大型の複合施設である市民体育館等の耐震化に着

昭和39年に建設された蕨市役所庁舎は、現行の耐震基準を満たさないため、早急な耐震化整備が必要です。10、11[※]では、今年度内に策定予定の庁舎整備の基本方針について紹介します。

手しました(今年6月に完了)。こうして公共施設の耐震化に一定の見通しが立ち、蕨市庁舎整備基金も27年度末には10億円を超えるなど市庁舎の耐震化を実効性をもって検討できる状況となったことから、昨年6月より蕨市庁舎整備検討委員会において市庁舎の耐震化の在り方を検討。今年1月に報告書をまとめました。

**5つの方法を比較検討し
整備基本方針案まとまる**

現庁舎は、現行の耐震基準を満たしておらず、大地震の際には庁舎の使用を継続することが困難となり、災害応急活動・復旧活動に大きな支障が生じることが予想されます。また、雨漏りが発生するなど老朽化が著しく、維持管理費が増加。混雑時には立って待

～現庁舎の概要～

住所／中央5-14-15 建築年月／昭和39年5月
構造等／鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階
(塔屋2階建) 延床面積／4,695平方[㎡] 敷地面積
／3,727平方[㎡] 駐車台数／自動車81台 駐輪台数
／自転車300台程度 職員数／314人(非常勤職員含
む平成23年～27年の各年4月1日現在の平均値)





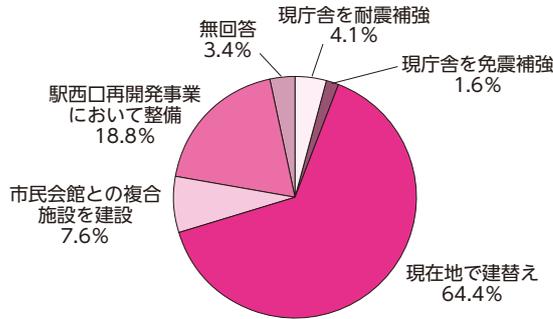
答申「現在地で建替えが最適」 ～蕨市庁舎整備検討審議会～

庁舎整備は、市の将来に関わる重要課題であり、かつ、多額の財政負担を伴うものです。そこで、市議会議員や学識経験者、公共的団体等の代表、公募市民で構成される「蕨市庁舎整備検討審議会」を設置し、庁舎整備の在り方について諮問しました。審議会は5月から10月までに、計5回の会議を通じて審議を行い、10月11日、「建替えによって市庁舎の耐震化整備を行うべきであり、建替えは現在地で行うことが最適である」との答申が提出されました(上写真)。

64.4%が「現在地で建替え」と回答 ～市民アンケート～

番号	1	2	3	4	5
整備方法案	現庁舎を耐震補強	現庁舎を免震補強	現在地で建替え	市民会館との複合施設を建設	駅西口再開発事業において整備
事業期間	約4年	約5年	約7年	約10年	約7～8年*
概算事業費	約24億 6,000万円	約35億 8,000万円	約39億 9,000万円	約95億 7,000万円	約68億 1,000万円
使用可能年数	約15年(改修後)			約70年(建築後)	
1年間当たりの費用	約1億 6,000万円	約2億 4,000万円	約6,000万円	約1億 4,000万円	約1億円

※案5の事業期間は都市計画変更後です



アンケートの結果、「現在地で建替え」が64.4%と最も多く、以下、「駅西口再開発事業において整備」、「市民会館との複合施設を建設」と続きました。

調査概要

期間：平成29年7月14日～8月4日
内容：市役所庁舎の耐震化の整備方法に関する7項目
対象：市内在住の18歳以上の3,000人
回収率：45.1%



※蕨市庁舎耐震化整備基本方針(案)より抜粋

蕨市庁舎耐震化整備基本方針(案) 皆様のご意見をお聞かせください



対象者 = 市内在住に勤在学者や市内に事務所または事業所を有する人、市に対して納税義務を有する人、その他本事業に利害関係を有する人
提出方法 = 様式(市役所政策企画室・市民活動推進室、各公民館、図書館、市ホームページで入手可)に必要事項を記入の上、14日までに郵送またはメール、FAX、持参

詳細・提出先 = 政策企画室(☎433・7698 FAX432・7992)

※詳細については、市ホームページをご参照ください(右QRコード)



つ人がいるほど狭隘^{あひ}な上、トイレが階段の踊り場にあり、バリアフリーの観点からも来庁者にご不便をかけています。こうした課題を解決するため、「現庁舎を耐震補強」、「現庁舎を免震補強」、「現在地で建替え」、「市民会館との複合施設を建設」、「駅西口再開発事業において整備」の5つの整備方法について耐震性、利便性、経済性などの面から比較検討。併せて、蕨市庁舎整備検討審議会(左上囲み)からの答申、蕨市役所庁舎耐震化整備方法に関する市民アンケート(上グラフ)の結果なども踏まえ、この度、「蕨市役所

庁舎の耐震化は建替えにより行い、建設場所は現在地とする」ことを蕨市庁舎耐震化整備基本方針案といたしました。
皆様のご意見を踏まえ今年度内に基本方針策定
蕨市庁舎耐震化整備基本方針案について、皆様のご意見をお聞かせください(左囲み)。今後はそのご意見を踏まえて、今年度内に蕨市庁舎耐震化整備基本方針を策定します。そして、来年度には基本構想・基本計画の策定に着手するなど、上図の想定スケジュールのとおり、早期の庁舎整備に取り組んでいきます。



レポート そここが知りたい

<129>

市民意識調査の結果まとまる

市では、市民の皆さんから市政に対する意見や要望などを伺い、手を取り合いながらまちづくりを推進していきこうと、毎年、市民意識調査を実施しています。この度、その結果がまとまりましたので、主な調査項目の結果について紹介します。

その結果のうち、主な内容について紹介します。

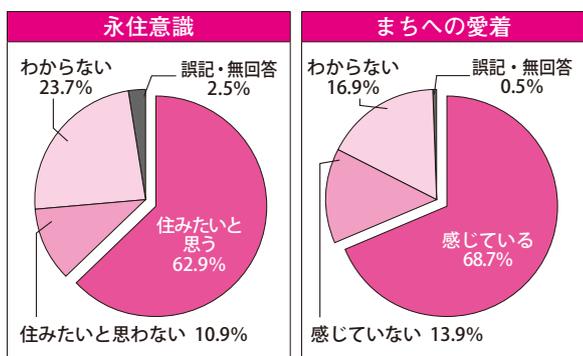
初めに、「まちへの愛着」については、「感じている」と答えた人が68・7%と、7割近い結果となり（左下円グラフ）、その理由としては、「買い物など生活に便利だから」が1位でした。また、「永住意識」については、「これからも「住みたいと思う」と答えた人が、62・9%と最も高くなりました。

いずれの結果から、多くの皆さんがまちに愛着と満足を感じていることがうかがえます。

安全・安心の分野に多くの関心が集まる

続いて、今後の市政の重点施策について、「重要度」と「満足度」の両面から36項目にわたってお聞きしました。「重要度」で

は1位が「防犯対策」、2位が「防災対策」、3位が「消防・救急体制」と、昨年引き続き、安全安心に関する分野への関心が高まりました。そして、「満足度」では、1位が「消防・救急体制」、2位が「子育て支援」、3位が「防災対策」でした（左囲み）。また、防災や自転車における交通安全、子育てなど、「まちづくり」に関する10分野についてもご意見などを伺いました。そのうち、「高齢期に大切なことについて」は、「体力の増進や健康の保持」が70・1%と、前年と比べ



重点施策	
満足度	重要度
1位 消防・救急体制	1位 防犯対策
2位 子育て支援	2位 防災対策
3位 防災対策	3位 消防・救急体制
4位 コミュニティバスなどの公共交通の充実	4位 交通安全対策
5位 上・下水道の整備、雨水対策	5位 上・下水道の整備、雨水対策

平成29年度市民意識調査
 調査期間：平成29年8月1日～31日
 調査内容：
 ◎まちへの愛着 ◎永住意識
 ◎まちづくり(防災、自転車の交通安全、子育てなど10分野)
 ◎重点施策 など全27項目
 対象：市内在住の18歳以上の男女1,000人(無作為抽出)
 回収率：43.1%(431人)

「週3日以上」と「週1〜2日程度」の回答を合わせると、前年比42ポイント増で50%を超えるなど、市民の皆さんの健康に対する意識が高まっています。ことが分かりました。

市民の皆さんの声がまちづくりの原動力

市では、こうした調査結果を市政運営の参考にし、住み続けたいと思われるまちを目指し、各施策の更なる充実を図っていきたくと考えています。なお、今回の調査結果は、市役所1階市民活動推進室や各公民館、図書館のほか、市ホームページでも御覧いただけます。

情報ダイヤル
 掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

【見に来ませんか】
 ▼子どもミュージカルラビコクリスマス公演♪ピーターパン 24日 1回目 午後1時 2回目 午後3時 東公民館(永沼・☎452・8143) (仲間にありませんか)
 ▼竹紫館(剣道) 月・水・金曜日 午後6時 同館 月2000円 小学生(平田・☎080・5423・0023) ▼ビスケットクラブ(英語サークル) 月3回火曜日 午後4時半 旭町公民館 月3000円 小学1・2年生(豊崎・☎090・4598・3172) ▼藤塚越サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 東小学校(塚越小学校 月2500円 年中(小学生(元山・☎090・8461・5315) ▼藤北町サッカー 土・日曜日・祝日 北小学校 月1500(2000円(未就学児は年間1000円)年中(小学生 活動時間は学年によって異なります(小泉・☎090・4948・5936) ▼ねこのみみ(市民交流・談話) 月1回 正午 市内 500円(北田・☎432・8501) ▼北町囲碁クラブ 土曜日 午後1時 北町公民館 年1200円(小林・☎431・3180)

～蕨の歴史を語り継ぐ～
中仙道武州蕨宿宿場まつり



宿場町として栄えた蕨の歴史を現代に伝える「中仙道武州蕨宿宿場まつり」が11月3日、中山道本町通りで開催されました。今年で34回目を迎えたこのお祭り。訪れた16万人は織姫道中パレードや河鍋暁斎の新富座妖怪引幕の展示のほか、初開催の高校生アイデアお菓子コンクールなどを通じてまちの文化に触れるとともに、郷土への愛着も深めました。



暁斎が描いた縦4メートル×横17メートルの新富座妖怪引幕(レプリカ)



双子織にちなんだ銘菓を作る高校生お菓子コンクール

ミス織姫に聞きました

伝えていきたい
このまちの魅力

みねざわ ゆい
峯澤 由衣さん
錦町6丁目・20歳



織姫は、小学生のときに目にしてからずっと憧れでした。パレードでは温かい声援に迎えられ、とてもうれしかったです。今後はミス織姫としてまちの魅力を広め、皆さんに蕨をもっと好きになってもらいたいです。

まちの話題

今月17日まで、歴史民俗資料館でオータムギャラリー「行灯&ほんわかイラストレーション」が開かれています。初日の10月28日にはテノール歌手・松村英行さんとピアニスト・追川礼章さんによる演奏会を開催。訪れた150人は優雅なひとときを堪能していました。

市の文化功労者に贈られる「けやき文化賞」の表彰式が、11月3日にくるで開かれました。受賞者の石村宗侑(北町在住)さんは茶道(表千家)教授で、市内では苗木市・藤まつりや宿場まつりでのお茶会のほか、茶道教室などを通じて芸術文化の振興に尽力されています。

11月17日、市民体育館で「中学生の主張inわらび」が開かれました。成人まで5年という節目の年に、市内3中学校の3年生の代表6人が、将来の夢や日頃抱く思いを発表。各校の2年生など455人を前に堂々と主張を行い、社会の一員としての自覚を高めました。

市では、子どもたちが電子メディアと上手につきあうための取り組みを進めています。11月18日には市民体育館で「蕨市アウトメディア推進大会」を開催。講演会や塚越小学校の児童会による発表などが行われ、訪れた158人はアウトメディアへの関心を高めました。

11月24日と25日、市民体育館で「園芸品評会」が行われました。農作物130点が出品され、家族で農業を営む貫井さん(写真中央・貫井辰之介さん)のヤツガシラが最優秀の県知事賞を受賞。即売会などもあり、来場者にとって地元野菜に触れるよい機会となりました。

演奏会で華やかに開幕



けやき文化賞に石村氏



各校代表が思いを主張



アウトメディアを推進



農産物を表彰する催し



- ▼南園基クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 山本・☎432・4543
- ▼楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4500円 浦島・☎224・5915
- 〔参加しませんが〕
- ▼花育体験講座 2月4日 午前10時 小学生 先着30人 市民会館 さいたまの花普及促進協議会主催 小林・☎442・3257
- ▼「館林めぐり」参加者説明会 日時等は電話確認 日帰り 旅倶楽部・岩本・☎090・3431・4295
- ▼SKKDダンスパーティー 13日・21日・28日 午後1時から くるる 499円 犬塚・☎080・5183・8342
- ▼セピア火曜会ダンスパーティー 練習会 4日 午前9時半 499円 火曜会ダンスパーティー 19日 午後1時15分 600円 くるる 坂内・☎443・8968
- ▼江戸あるき「古の武蔵国分寺(僧寺・尼寺)と都立殿ヶ谷戸庭園」 2日・7日 午前9時 蕨駅改札前 700円 富山・☎090・2764・1342
- 〔相談ください〕
- ▼蕨断酒会(酒害相談) 5日 戸田市福祉保健センター
- 8日 南公民館 21日 旭町公民館 午後7時 語り合いの場 高橋・☎090・2302・8510



蕨市民音楽祭

11月11日・12日開催
約5,500人(出演者含む)

～まちじゅうが音楽に
包まれた2日間～



(右上から反時計回りに) オープニングを飾ったビッグバンド。すてきな声を響かせた一中音楽部。劇も交えながら楽しく演奏を行う東中吹奏楽部。心地よい演奏を聴かせてくれた二中吹奏楽部。ラ・テラス大作前ではフラッシュモブも。大にぎわいとなった市役所駐車場でのわらんちゅフェス



市 内の13会場・18ステージで、プロやアマチュアバンドなどによる演奏や各種イベントを開催した今回の蕨市民音楽祭。まち全体が音楽に包まれるとともに、すてきなメロディーに乗せて笑顔も広がる2日間となりました。



(左写真右上・下)「音の架け橋」での蕨高校音楽部・吹奏楽部の生徒による演奏 (左上)「にぎわい日曜日の夕べ」では軽音楽に親しむ皆さんの姿が (左下)サクソ奏者の坂田明さんと左手のピアニスト・智内威雄さん、河鍋暁斎による夢の共演(くるる)

インタビュー

市民の声 ～音楽祭の感想を皆さんに聞きました～

音楽で更に魅力的なまちに

プロの音楽家の皆さんやアマチュアバンド、子どもたちなどが奏でるさまざまな音楽に触れられ、とてもよかったです。また、模擬店や各種催しなどもあり、各地でにぎわいがあったのもよいですね。今後もこうした取り組みで魅力あるまちづくりを進めてほしいです。



参加者
富田 敦子さん
錦町5丁目・58歳

発表の場増えうれしいです

東中学校吹奏楽部の部長として、仲間とともに日頃の成果を披露しました。身近な人をはじめ、多くの皆さんに喜んでいただけたことはうれしかったです。また、他校の中学生や蕨高校の先輩たちの演奏も聞くことができ、刺激になりました。ぜひ、また参加したいです。



出演者
渡邊 晃朔さん
塚越3丁目・13歳



国民健康保険の広域化への対応
来年度の国保税は据え置きへ

市長 頼高英雄



高齢者や自営業の皆さんが加入する国民健康保険（国保）は、市民の健康を守る上で欠かせない制度で、日本が世界に誇る国民皆保険の要でもあります。現在サラリーマンの方も、会社を退職後は、いずれ加入することとなります。

蕨市では、こうした国保の意義を踏まえ、国保税を低い水準に抑える努力を続けてきましたが、法改正により、来年4月

から国保が都道府県単位で広域化されることとなり、昨年12月に県から示された標準保険税率を適用した場合、蕨の保険税は、1・77倍となる見込みとなりました。

私は、市民の暮らしや健康を守る立場を基本としつつ、税率の見直しを含めて広域化への対応を検討してきましたが、その後、数回にわたり県から示された試算では、想定していたより市の負担が少ない見込みとなったことや広域化の国保財政への影響がまだ不透明であることから、来年度の国保税については、据え置く決断をいたしました。

今後、広域化後の国保の財政状況を踏まえて、改めて、検討していきたいと思えます。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は7日です。ただし、1月は11日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。

紹介します！皆さんの市民活動



私たちといっしょにハーモニーを響かせませんか。詳細は森田（☎070・6645・0501）までご連絡ください

「4月から幼稚園に楽しく通う琴菜。帰ってくると、お友達と手紙を交換したことや、お弁当を全部食べられたことなど、その日の出来事を満面の笑みで話してくれるんですよ。その姿に、自然と頬が緩んでしまいます。」

そんな琴菜が大好きなのが姉の和奏。いっしょに子ども用のドレスを着て歌ったり踊ったりしていて、まるで我が家は小さな舞踏会場です。これからはみなと仲よく元気に育ってほしいですね」と、母親のあつ子さん。



ことな 琴菜ちゃん
(4歳1か月)

ことう ひろゆき 後藤 弘之さん
あつ子さんの二女
北野5丁目 -548-

わが家のアイドル

メッセージ



もりた あきこ 森田 明子 代表

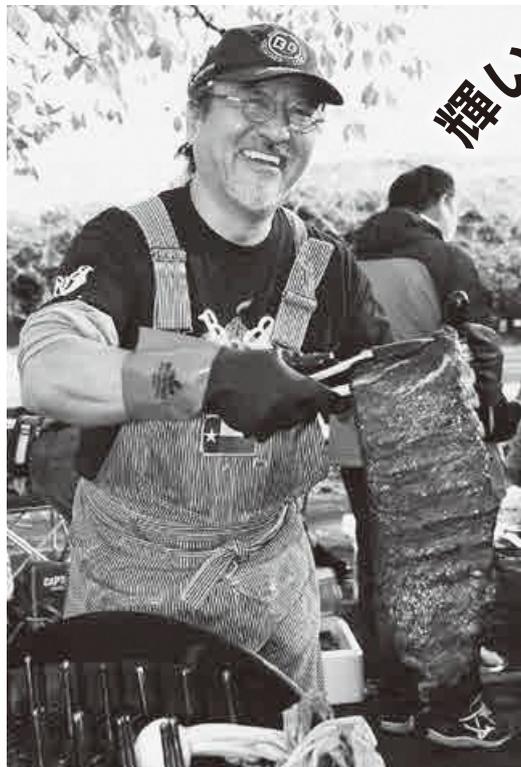
「見 ぎ」は、昭和49年に「女子にもっとと歌う場を」との思いから合唱好きで有志で設立しました。現在は幼児から大学生まで男女11人が毎週土曜日（南公民館 午後4時半）に集まり、地域のイベントや県の合唱祭、合唱コンクールなどの発表会に向け練習に励んでいます。合唱で重要なのはチー



市民合唱祭に向けレッスンに熱が入ります

ムワーク。練習では団員どうしがお互いの性格を理解して、話し合い、考えることをたいせつにしています。アットホームな雰囲気なので、卒団した団員が自分の子どもを入団させるなど世代を超えたつながりも生まれているんです。また、毎年合宿を開催するほか、ミュージカルやプロの演奏会などを鑑賞したり、老人ホームに慰問に行ったりと練習以外にもさまざまな活動しています。

来月14日には市民会館で開催される市民合唱祭で日頃の成果を披露しますし、3月にはチャリティーコンサートも予定しています。見学や体験もいつでも大歓迎ですので、歌うことが好きな人はぜひ、足をお運びください。



「人との交流がなよりの魅力です」と、重野さん。

輝いています

ひと

世界バーベキュー大会 入賞

しげのひとし
重野 仁志 さん

本場のバーベキューを広めたい

バーベキューの本場アメリカでは、年間1000回以上もの大会が開催されているのをご存じですか。今年9月、その中でも4大会の一つに数えられる「アメリカンロイヤル」に日本からも1チームが参加。その一員として、ポーク部門で入賞を果たしたのが、日本BBQ協会認定上級インストラクターの資格を持つ重野仁志さん（55歳・塚越6丁目）です。

味や見た目、軟らかさが採点対象の大会で、重野さんは均等に火をいれるのが困難な豚の肩肉を担当。縦20センチ×横25センチ×厚さ10センチ、重さ4結の塊を、巧みなナイフさばきで丁寧に余分な脂肪を取り除き、温度管理をしながら、約8時間もかけて焼き上げます。完成した肉はナイフを入れると崩れるか崩れないかの絶妙な状態となり、審査員6人のうち3人が満点を出すほどの高評価。407チーム中15位に輝く快挙を達成しました。

そんな重野さんが本場のバーベキューに出合ったのは4年前。日本とは違い、火の起こし方から焼き方、そして、その一挙手一投足で見る人を魅了するパフォーマンスまで、全てにこだわる奥深さに心を奪われました。仲間の笑顔が好物の重野さん。料理を楽しんででもらいながら、酒を酌み交わすのは「至福のひとつです」と、目を細めます。

これまで仕事の傍ら普及に取り組むほか、大会に参加するなど経験を積んできました。その一方で塚越の桜まつりや生涯学習フェスティバルにも出店するなど地域にも活動の場を広げています。「一度食べたらやみつきです」と、リピーターもいるほどで、「キッズバーベキュー学校も開きたいですね」と、笑顔で話す重野さん。これからも持ちまへの明るさと世界で通じる腕前を生かして、本場のバーベキューの醍醐味を広めていきます。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No.19 —



本作品は展覧会で御覧いただけます

『暁斎百鬼画談』より「妖怪入りの唐櫃」明治22年 版本

版本「暁斎百鬼画談」は暁斎が亡くなった後の明治22年8月に発行されました。その内容は、庶民が集まって怪談話をする「百物語」の場面に始まり、それまでの「百鬼夜行図絵巻」など、さまざまな妖怪絵巻からアイデアを得た妖怪たちの行列が続く絵巻物風に描かれています。

左上図の妖怪入りの唐櫃の場面は、京都の大徳寺真珠庵が所蔵する「百鬼夜行図絵巻」にも登場しますが、暁斎の妖怪の方がダイナミックに描かれています。



現在の茨城県古河市で生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)

河鍋暁斎記念美術館 12月23日(土・祝)まで
「暁斎が描く異形のものたち」展
同時開催「英国の子供たちの見た暁斎」展

開館 = 午前10時～午後4時
休館 = 木曜日 毎月26日～末日、年末年始
ところ = 南町4-36-4
入館料 = 一般600円 中学生～大学生500円
小学生以下300円
(20人以上の団体は要予約)
詳細 = 同館 ☎441・9780

